

用途

除菌（除菌・清掃）

業種

運輸業、郵便業 公務 教育、学習支援業 その他



CYBERDYNE

CYBERDYNE 株式会社

<https://www.cyberdyne.jp>

TEL : 029-869-9980

Email : media@cyberdyne.jp

使用ロボット

メーカー名 :

CYBERDYNE (株)

ロボット名 :

CL02

導入先

場所/施設名 :

羽田空港 / 成田空港 / つくば市役所 / JR 高輪ゲートウェイ等

ユーザー名 :

羽田空港 / 成田空港 / つくば市等

ユーザーの声

現在、新型コロナウイルス感染症対策として各地の公共施設等においては除菌作業が日常的に実施されている。一方、中長期的な感染対策が想定される中、日常的に除菌作業を実施するスタッフの負担軽減や感染リスク低減が求められるようになってきている。ロボットは除菌剤噴霧器を搭載し、施設内を巡回しながら除菌を行う。様々な感染対策が想定される中、こうした除菌作業ロボットの活用を通じて、公共施設等の除菌作業に従事されている世界中のスタッフのみなさんの負担軽減、感染リスク低減に貢献することを期待している。

導入の背景

新型コロナウイルスの感染リスクが高い空港や駅などの交通インフラ施設、大型商業施設や自治体庁舎などの公共施設で、感染リスクを低減させることのみならず、ウイルス除去や除菌にあたる従業員が直接ウイルスに接触するようなリスクを徹底的に排除し、そこで働く従業員の健康と安全を守るため、自律走行可能な除菌・清掃作業が可能なロボットを提供した。

導入の目的

- ・新型コロナ対策として、①除菌剤噴霧による壁面や空間、手すりやドアノブ等の除菌、②安全性に配慮しロボット底面からの紫外線照射による床面除菌、③除菌後の埃の吸引除去を実現できる。
- ・GPS 信号が届かない屋内空間でも、自ら地図を作成し、安全・正確に自律走行しながら除菌・清掃ができる人工知能搭載型移動ロボットで、除菌・清掃作業は無人で行い、従業員のウイルス接触リスクを低減する。

導入の内容

除菌・清掃ロボット「CL02」は、自律走行しながら除菌・清掃することができるロボットである。建物内部の形状と清掃経路を認識して記憶するため、磁気テープやマークといった誘導線がなくても自律走行することができる。加えて、独自に開発した内蔵する 3D カメラが障害物を検知した場合の一時停止機能、また作業結果の可視化（ダストマップ）機能も搭載している。夜間の人が入り出しない時間帯等に、あらかじめマッピングしていた経路を自律走行することで除菌・清掃作業を無人で行う。

導入価格：月額 80,000 円（税抜き）～



導入の特長

現在、空港や自治体庁舎、そして大型商業施設等でも導入されている。除菌・清掃だけでなく搬送など、様々な用途で応用することが可能。オフィスビルや商業施設は、仕事を中心として日常生活が行われる場であり、ビル内で最新鋭の通信技術を搭載した動く通信体としての役割を果たし、ビルの環境情報を収集していくことも可能。「CL02」は清掃だけでなく、除菌機能、搬送等「機能の拡張性」が大きいことも特徴のひとつである。

また、定期的な導入先への訪問と運用検証、導入先からのフィードバックを元に問題事項などがあれば収集を行う。

効果

ウイルス感染症対策として、除菌剤噴霧機能による手すりやベンチ等の除菌および、本体底面に配置された紫外線照射機能により床面の除菌を行う。除菌後にホコリのついた菌の吸引を行うことで、最先端の自律走行技術を活用した非接触・非対面での除菌作業を実現。また、作業員の高齢化や労働力不足が深刻化する清掃現場で、人とロボットがインタラクティブに協働し、安全かつ効率的な清掃業務を実現することで、ビルのインテリジェンス化の支援と清掃品質のさらなる向上に貢献していく。